

7-5 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果（2005年11月～2006年4月）
Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region
(November, 2005～ April, 2006)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

産業技術総合研究所は長野県西部地域（王滝地域），跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している（第1図）。王滝地域では2000年5月7日より歪，傾斜計が故障のため観測不可能となっている。

宮川：跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し，坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計（1Hz, 3成分速度計）を設置。また，深度256.78～267.66mの滯水層にストレーナーを設置し，地下水位の計測も行っている。高周波での地震計の共振がないよう，計器を改良した。計器中に，歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

跡津川：跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し，坑底に3成分ひずみ計を設置。また，地下水位の計測も行っている。計器中に，歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

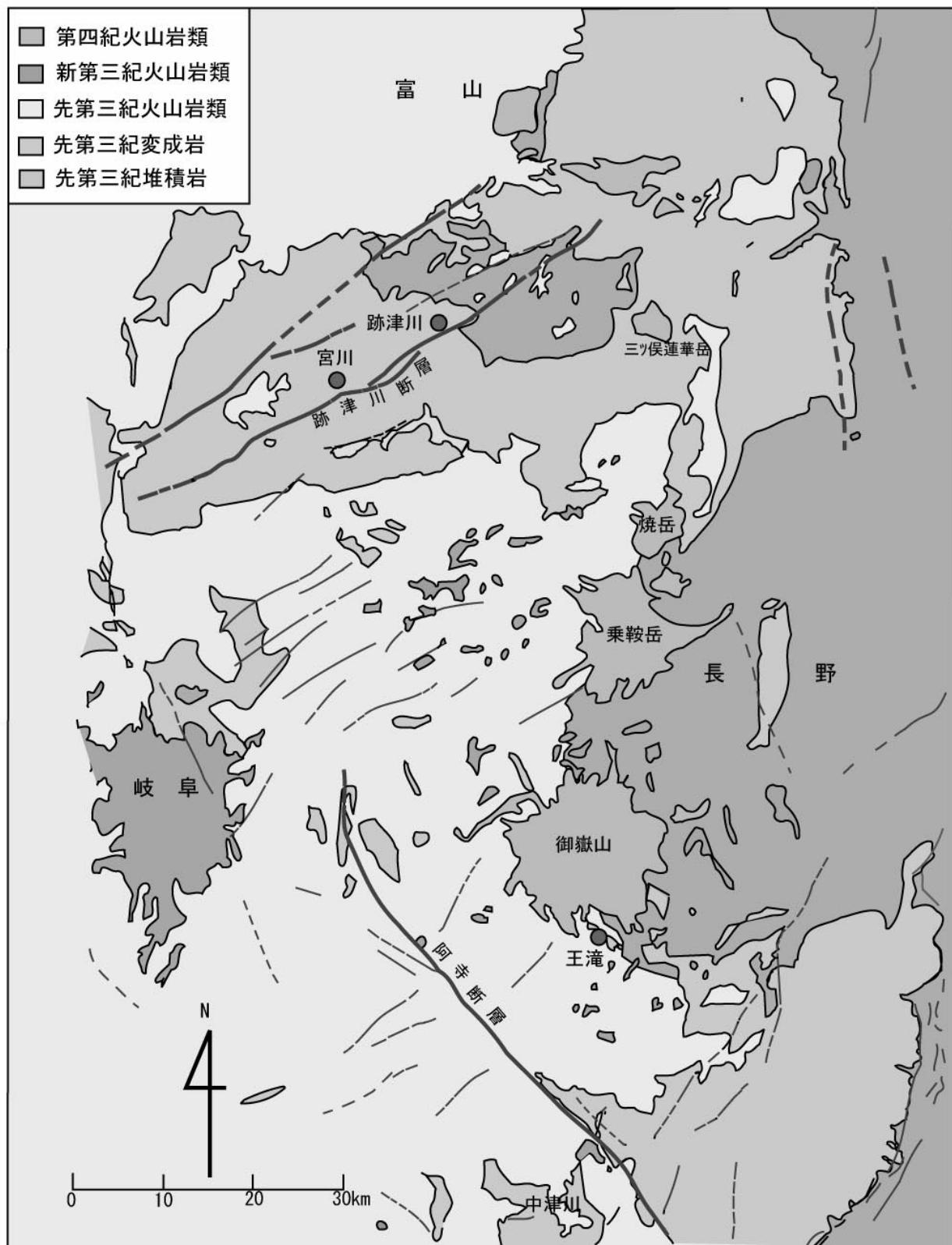
2. 観測結果概要

宮川（第2図）：水位，歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。

跡津川（第3図）：水位，歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から 数カ月周期の温度，歪の不安定な変動が続いている。

跡津川（第4図）：7年4ヶ月間の記録。2002年4月初旬から歪3成分で約1E-7/日の急速な伸び，歪計内の温度が約0.5m°C/日で降下している。これ以後数カ月周期の温度，歪の不安定な変動が続いている。

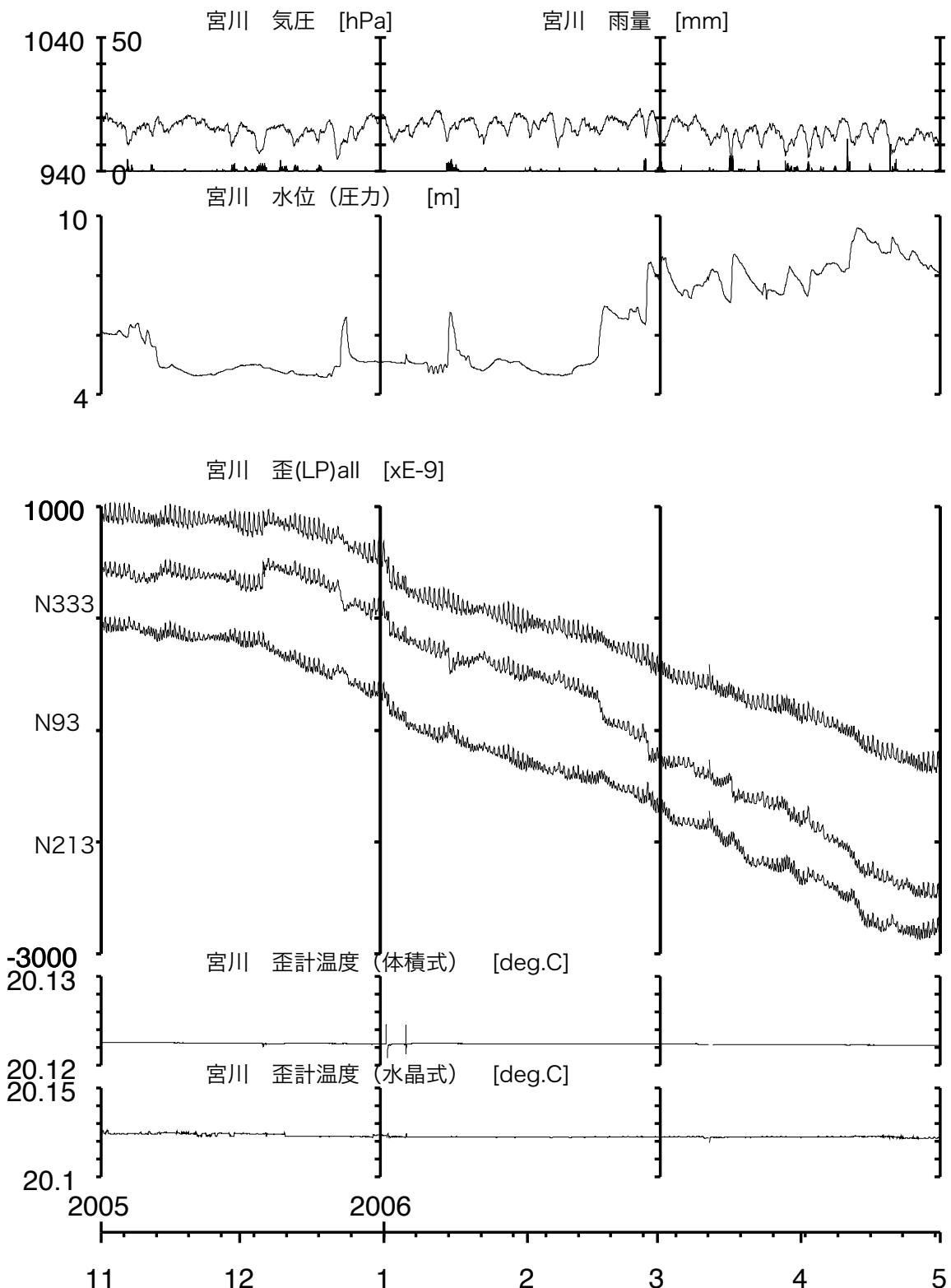
（木口 努， 長 郁夫， 桑原保人）



第1図 長野県西部地域・王滝地域、跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig. 1 Location map of the observation boreholes at Ohtaki in Naganoken-Se region, Miyagawa and Atotsugawa at the Atotsugawa fault.

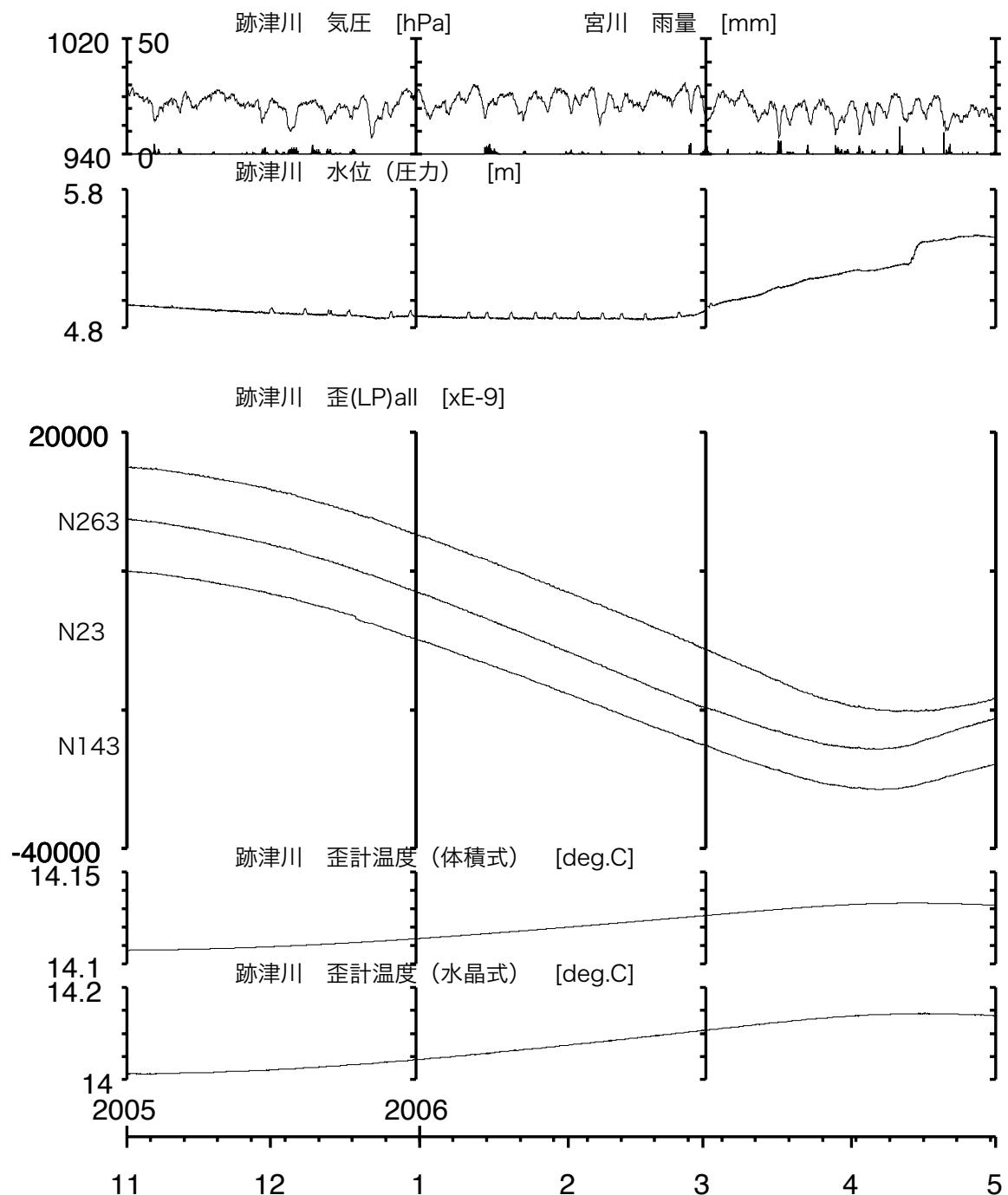
宮川歪観測結果（時間値）
 (2005/11/01 00:00 - 2006/05/01 00:00)



第2図 宮川における歪観測結果（6ヶ月間）

Fig. 2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).

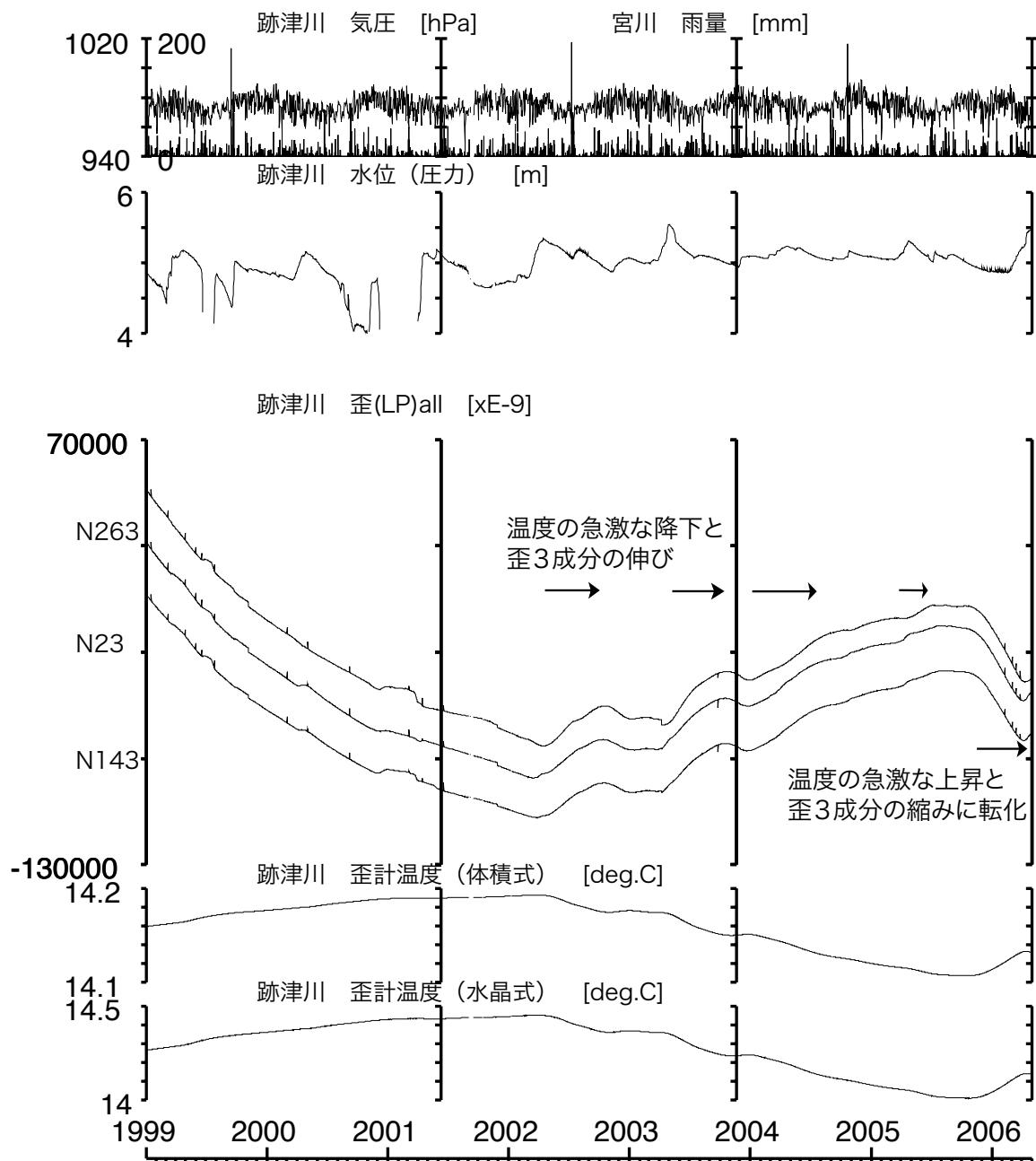
跡津川歪観測結果（時間値）
 (2005/11/01 00:00 - 2006/05/01 00:00)



第3図 跡津川における歪観測結果(6ヶ月間). 2002年4月以後歪み計温度が不安定であり、歪データも不安定となった。

Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果（日値） (1999/01/01 00:00 - 2006/05/01 00:00)



第4図 跡津川における歪観測結果（7年と4ヶ月間）
Fig.4 Results of strain meters at Atotsugawa (for 7 years and 4 months).